

職員給与などの状況

問い合わせ 秘書課 ☎227-6022

市職員の部門別職員数や給与などをお知らせします。

部門別職員数（各年4月1日現在）		
	令和6年度	令和7年度
一般行政部門	264人	271人
特別行政部門(教育委員会)	43人	46人
公営企業等特別会計部門	33人	32人
合計	340人	349人

※職員数は、一般職に属する正規職員数です。

人件費（令和6年度普通会計決算）	
住民基本台帳人口（令和7年3月末現在）	54,348人
歳出額(A)	244億1849万5千円
人件費(B)	29億9605万1千円
人件費割合(B/A)	12.3%

※市一般会計歳出額とは異なる場合があります。

職員給与費（令和6年度普通会計決算）	
職員数(A)	306人
給与費(B)	15億8404万5千円
給料	10億1217万3千円
職員手当	1億4906万1千円
期末・勤勉手当	4億2281万1千円
一人当たりの給与費(B/A)	517万7千円

職員の平均年齢,平均給料月額,平均給与月額（令和7年4月1日現在）			
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	41.6歳	324,400円	366,400円
技能労務職	54.1歳	291,900円	296,200円

期末・勤勉手当（令和6年度）	
■平均支給額148万円	
	支給割合
期末手当	2.5月分(1.4月分)
勤勉手当	2.1月分(1.0月分)

※（ ）内は、再任用職員に係る支給割合。
※支給割合は、国と同じ。

特殊勤務手当（令和6年度）	
支給実績	55万4千円
支給職員一人当たり平均支給年額	2,638円
職員全体に占める手当支給職員の割合	64.6%
手当の種類（手当数）	9種類

退職手当（令和7年4月1日現在）		
年数	自己都合	勲奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分

※支給割合は国と同じ。

ラスパイレス指数				
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
野々市市	99.0	98.6	96.6	97.0
全国市平均	98.8	98.7	98.6	98.6
類似団体	98.2	98.3	98.3	98.3

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数。
※類似団体とは、人口および産業構造が似通った他の市町村。

令和6年度決算の詳細は市ホームページで確認できます。



将来都市像

かがやき無限大
みんなでつくる
インパクトシティのいち

コンパクトな市域に詰まった魅力を市民の皆さんと磨いていくことで、多くの人に大きなインパクトを与える「かがやきあふれる野々市市」を目指しています。

特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	40億7395万 千円	40億5038万 3千円
後期高齢者医療	7億 652万 1千円	7億 426万 5千円
介護保険	32億8057万 7千円	32億 662万 6千円

企業会計

会計名	収入	支出
水道	収益的収支	9億 157万 2千円
	資本的収支	1億9031万 5千円
公共下水道	収益的収支	12億3103万 2千円
	資本的収支	6億5698万 6千円

用語の説明

- 一般会計**
市の基本的な行政サービスを行う会計

特別会計
一般会計から切り離して収入・支出を経理する、特定の目的のための会計

企業会計
地方公営企業法によって定められた水道事業の会計方式

歳入・歳出
市の1年度内の収入・支出
- 国庫（県）支出金**
国（県）の特定事業に対し、国（県）から交付されたお金

市債
国などから借入れたお金

繰入金
基金などから繰り入れたお金

繰越金
前年度から繰り越したお金

化事業の財源として市債を発行したことにより、市債が前年度から17億9千万円増加し26億6千万円になりました。

「歳出」物価高対策として実施した物価高騰支援給付金に5億4千万円支出したほか、高校生年代まで対象を拡大した児童手当支給に10億8千万円を支出しました。また、投資的事業として文化会館改修事業に6億6千万円、中学校給食センター改修事業に6億1千万円、布水中学校増築事業に5億1千万円を支出しました。

今後も、市民の皆さんが「住み続けたい」と思えるよう、また持続可能な野々市であり続けられるよう、財政運営を行っていきます。

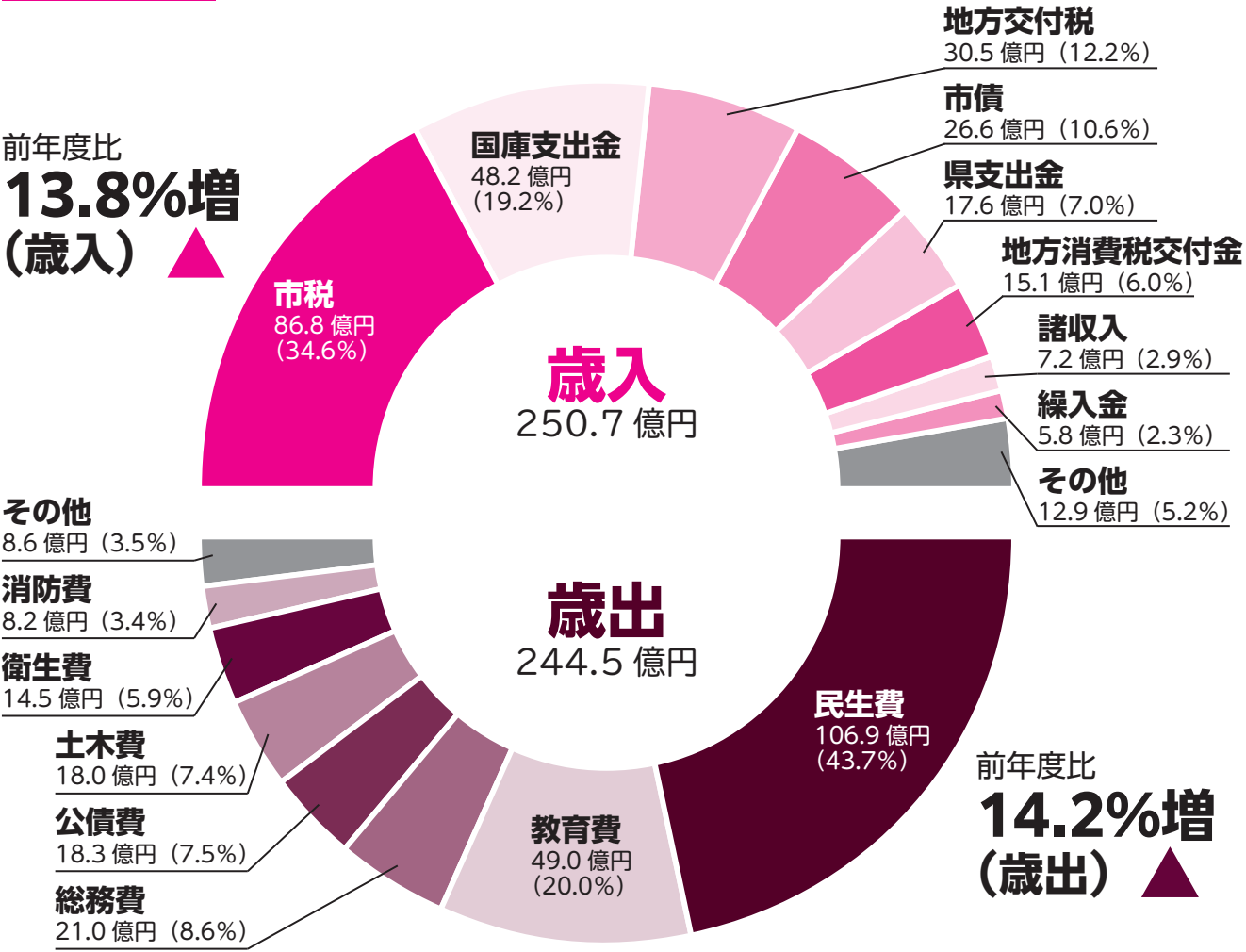
令和6年度決算報告

一般会計歳出額は
244億4617万9千円

令和6年度、野々市市にどのくらいの収入があり、どのように使われたのか。決算の概要についてお知らせします。

一般会計

※金額は表示単位未満を端数処理しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。



実質収支が5億円の黒字

令和6年度決算は、歳入が歳出を6億2千万円上回り、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は5億円の黒字となりました。

「歳入」市税が、地価の上昇による固定資産税の増加や企業収益の回復による法人市民税の増加により、1億1千万円増加し86億8千万円になりました。地方交付税では公共施設の光熱費・委託経費高騰への対応による加算や、定額減税による減収分を補填する交付金などにより、4億3千万円増加し30億5千万円になりました。その他、布水中学校増築事業や公共施設の長寿命

その他の内訳	
歳入	
繰越金	4億 323万2千円
利子割等交付金	3億1446万2千円
地方譲与税	1億4910万2千円
使用料及び手数料	1億4627万 円
寄附金	1億3016万3千円
分担金及び負担金	6677万5千円
財産収入	5092万3千円
環境性能割交付金	2358万7千円
交通安全対策特別交付金	713万9千円
歳出	
商工費	5億3130万4千円
議会費	1億7802万4千円
農林水産業費	1億1675万3千円
労働費	3386万7千円